

# 『育びい育ばあ』のための『ほめほめ講座』

## 「甘やかす」と「甘えさせる」には大きな違いがある

子どもたちの体の成長は著しく「この前買った靴がもう履けないわ」とうれしい悲鳴を聞くことがあります。

では、心の成長はどうでしょう。体の成長は、小さくなったり後戻りすることはありませんが、心の成長は行ったり来たりします。口では、大人ぶったことを言う5歳児もまだまだママと一緒にいたいのです。

そこで、「甘やかす」と「甘えさせる」の違いをお伝えします。

**甘やかす**とは、不必要な物を与えること。子どもが自分でできるのにさせなかったり、大人がすぐに助けたりしてしまうことです。（主体が大人）

**ポイント①** できることは自分で「やったー！やれたー！」という喜びで心が育ちます。

**甘えさせる**とは、必要な要求にこたえることです。（主体が子ども）

子どもが甘えてくるときは「愛情」と言うエネルギーがほしいときです。

「抱っこして」と来た時は、黙ってやさしく抱きしめてあげましょう。何も言わなくても抱きしめるだけで子どもは安心できます。スキンシップだけでなくサインや言葉でも愛情は伝わります。

**ポイント②** 子どもが甘えてきた時は十分甘えさせてあげましょう。

甘えは子どもを成長させますが、「甘やかす」は将来子どもをダメにしています。

甘やかすと甘えさせるは似ているようで大違いです。

☎市民福祉部子ども若者課 子ども若者相談センター

☎58-8077



## 市立病院から こんにちは

両津病院 伊藤管理部長

### 「愛される病院を目指し続けて」

昨年4月から両津病院管理部長をしています。ここは地元でもありますし20数年前に娘が生まれた病院でもあるので、思い出が詰まっています。

病院には毎日多くの患者さんと付き添いのご家族の方がみえられます。風邪でも引いたのかグッタリしてお母さんに抱かれています。小さな子どもさんもよく見かけます。こうした多くの方を見ると私は少し複雑な心境になります。管理部長として経営面からすれば多くの患者さんが当院を頼りにしてくれるのは本当にありがたいことですが、健康で病院に来る必要がないのが一番なのも間違いなくすからね。

両津病院は、今の姿になって37年が経ちます。その前身の時代から、ずっと「地域に愛されるかかりつけ病院」として、その役目を果たしてきましたし、これからも、その精神は変わることはありません。そのことは医師の先生方をはじめ病院に勤めるすべてのスタッフから強く感じます。

現在、両津病院には医師、スタッフに私ら事務方も含めて110人が勤めています。その全員で、両津病院がこの先も「地域のかかりつけ病院として愛され続けること」を目指し続けていきたいと思っています。

次回は相川病院の看護部です。

